

平成28年度「地域でつながる家庭教育応援事業」
家庭教育応援プロジェクト

会津地区フォローアップ研修会

福島県教育委員会（会津教育事務所）

●目的：各教育事務所が県や地域の課題を受け、その解決に向けた研修会を行うとともに、地域の家庭教育支援者の実践力を高める。

なお、会津地区においては、現在、地域家庭教育推進会津ブロック会議において食育をテーマとしていることから、食育を中心とした研修会を開催する。

●日 時：平成28年11月30日（水）13:00～15:40

●場 所：道の駅あいづ 湯川・会津坂下

●参加者：28名

実践発表「私たちにできること～自然の中で深める親子のコミュニケーション～」

家庭教育インストラクター会津さざなみの会会长 増子恵二 氏

1 さざなみの会とは

- 会員資格
 - ・福島県が養成した家庭教育インストラクター研修生
 - ・家庭教育インストラクターの研修に関わる者
 - ・会長が役員会に諮り認められた者

○目的 福島県において、家庭教育・地域教育が健全に機能し、子どもたちがよりよく教育されるよう、家庭教育インストラクターが互いに協力し合って活動することを目的とする。

○会の活動 ①講演会 ②研究協議会 ③情報交換 ④広報活動 ⑤その他の活動

○少しでも家庭教育の支援の手を広げていきたいとの思いで活動している。

2 活動内容

- 年に2～3回、事業を企画し実施する。
- 野外を教場として親子のコミュニケーションを深める。
- 自然豊かな施設を利用して実施する。

【前期事業「何してあそぼ！」】

- ・6月、大雨の中、猪苗代町「昭和の森」にて実施。
- ・親子で協力しながら問題を解決する中で、話し合いの場が生まれる。
- ・親が本気になる中で、子どもも本気になる。



【後期事業「何して食べよ！」】

- ・金券3億円を元手に、買い物、お店を開き、他のグループとのやり取りを通して食材を手に入れ、料理する。
- ・資金不足、食材不足、火起こし…困った時にこそ、真剣に考え、相談し、交流が生まれる。

【参加者の声】

- ・野外活動は大人の愛情の見せどころなのだと改めて感動した。生きていく力、コミュニケーション、思いやり・・・人間形成に大切な活動ですね。
- ・発達段階に応じた教育の大切さ、いかに参加者が主体的に考え、行動できるかは、やり方次第だと感じた。

講義・演習「食育を考えよう！」

会津大学短期大学部食物栄養学科 準教授 鈴木秀子 氏

1 食べるって何だろう？

- (1) 生きていく上で必要な栄養素を体内に取り入れる。
- (2) 社会で生きていくために必要なことを学び、育む。
- (3) 「食べること」そのものを楽しむ。



2 食育って何だろう？

- (1) 生きる上の基本、知育、德育、体育の基礎
- (2) 健全な心身を培い、豊かな人間性を育む基礎
 - ※ 実践に結びつく取組が重要
 - ※ 環境づくりとしての食育も重要

3 福島県の子どもたちを取り巻く環境

- (1) 核家族化の進行
- (2) 朝食で、主菜料理や野菜おかずが少ない、又は、ない。
- (3) 屋外活動の減少
- (4) 幼稚園・保育所は、震災後、子育て業務が増え、食育のサポートまでの余裕がない。

〈手ざわりクイズの体験〉

4 家庭の食育をサポートする様々な取組例

- (1) 小学校の取組
 - 子どもが考え、子どもがつくる弁当の日
 - ・学校と家庭をつなぐ
 - ・家庭の教育力を引き出す
- (2) 保育所の取組
 - 栽培・収穫→お買い物体験→クッキング→会食・・・一連の流れの体験
 - 手ざわりクイズ ○煮干しの観察 ○食育の木 ○紙芝居読み聞かせ・・・興味関心
 - だしの試飲・・・味覚
- (3) その他、短大やボランティアの取組

5 家庭の食育をサポートする取組について考え方

- (1) 方 法 体験型・参加型は人気で取り組みやすい。単発の取組が多い。
- (2) 活動結果 対象者だけでなく、他への影響がある。
- (3) ポイント ①「対象者が何を学ぶのか」の視点 ②生活の実践に結びつく働きかけ
③様々な人達との連携やネットワーク ④系統性・継続性のある活動計画

【参加者の声】

- ・新しいアイデアがたくさんあり、楽しく聞いたり、体験したりすることができました。
- ・食べることから学ぶことが多く、「食育」って食べることだけではないことがよく理解できた。
- ・生活の基本は食べること。人格形成は社会教育の環境から全て食につながっていく。いっそう活動に力を入れて家庭環境の育成に努めていきたい。

～全体的な感想・ご意見・要望～

- ・家庭教育講座等で話すことができる話がたくさんあり、大変勉強になった。
- ・食べることは生きる基本です。食を通して多くの方とコミュニケーションがとれ、幸せな気持ちにさせてくれます。食卓を大事にし、子どもを育てていきましょう。
- ・実践発表等の後、協議の時間があれば内容が深まったと思います。